

都市の緑3表彰 受賞者決定

「第44回緑の都市賞」「第35回緑の環境プラン大賞」「第23回緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財)都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑3表彰」を実施しております。

このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

第44回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第35回緑の環境プラン大賞 《国土交通大臣賞、他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。本年度より、シンボル・ガーデン部門については800万円から1000万円へ、ポケット・ガーデン部門については100万円から150万円へ助成金を増額しております。(P5-P8)

第23回緑化技術コンクール 旧屋上・壁面緑化技術コンクール 《国土交通大臣賞、環境大臣賞、他》


2002(平成14)年に創設。本年度より名称を「緑化技術コンクール」に改めました。気候変動への適応、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み、優れた成果をあげている企業、公共団体、個人等を表彰します。(P9-P12)

主催 (公財)都市緑化機構：会長 市川晃 東京都千代田区神田神保町3-2-4
(一財)第一生命財団*：理事長 渡邊光一郎 東京都千代田区平河町1-2-10
※ 緑の環境プラン大賞主催

第44回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数31件、第一次審査会：2024年8月26日、第二次審査会：9月24日



◎内閣総理大臣賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	命をつなぐPROJECT (愛知県知多市、東海市、大府市)	特定非営利活動法人 日本エコロジスト支援協会／命をつなぐ PROJECT 学生実行委員会	知多半島臨海部の工業地帯に作られた緩衝緑地帯を主な舞台とし、学生組織が主体となり緑地の生物多様性向上に資する活動を行っている。地域の生態系ネットワークの形成と次世代の育成を目指す産官学民連携の生物多様性プロジェクト。緩衝緑地帯での生物多様性に寄与する取組のプロトタイプになり得る点や、COP10から続く社会的な枠組であることなどが高く評価された。	


◎国土交通大臣賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の事業活動部門	再生の杜ビオトープ： 都市の生態系回復実証と地域共創 (東京都江東区)	清水建設株式会社技術研究所	都心臨海部の埋立地に多様な動植物が生息できる緑地を創出し、15年以上育成とモニタリングを継続している。絶滅危惧種を含む300種以上が継続的に確認され、生態系ネットワークに貢献している。セキュリティの高い研究施設でありながら、環境教育や産官民による地域連携の場としての活用、自社物件への技術活用などの広がりを持った取組が評価された。	
緑の事業活動部門	大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 (大阪府大阪市)	大阪ガス株式会社	緑地の少ない大阪市内で建物緑化の検証実験を竣工した1993年から開始し、維持管理を30年間継続している先駆的事例。近年、積極的に地域への関りを増やし、地域関係者や有識者を交えながら運営を行っている。長期にわたるモニタリングの継続による技術的知見の蓄積と、緑地としての広がりや地域への貢献に向けた試みや活動が評価された。	
緑のまちづくり部門	ばらのまち福山 「ばらの花いっぱい運動」 (広島県福山市)	福山市	戦後行われた市民主導によるまちの復興と平和を願ったばらの植栽を契機に、ばらのまちづくりを進めている。「ローズマインド(思いやり・優しさ・助け合いの心)」を育みながら、市民と行政が協働し「100万本のばらが咲き誇るまち」としての都市ブランドを確立している。様々な条例や計画を策定し、市全体でまちづくりとして取り組んでいる点が評価された。	





◎都市緑化機構会長賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	呉羽悠久の森と里山のあわいを繋ぐ持続可能な森づくり (富山県富山市)	NPO法人 きんたろう倶楽部	里山を再生し、森と街をつなぎ、持続的な循環の流れを構築すべく、近隣の地域団体と協働し毎月市民ウォーキングを開催するほか、地元の子供たちが自然に親しみ、学習する場を創出し、未来の緑を守る人材育成をおこなっている。	
緑の事業活動部門	デンソー善明製作所 生物多様性に配慮した 緑地づくり (愛知県西尾市)	株式会社デンソー 一善明製作所/ 株式会社オオバ	地域固有の植物や生き物(絶滅危惧種)の生息環境復元のため、1998年の操業時よりビオトープを設置し、自然配植法による森づくりを継続中。また地域との協働により2つ目のビオトープを設け、環境学習や地域の憩いの場となる緑の環境を提供している。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	化女沼の桜で未来の子供たちに夢と希望を! (宮城県大崎市)	化女沼2000本 桜の会	荒廃していた化女沼ダム湖畔に市民協働で桜を植樹し、未来に桜の景勝地を残そうと2000年から活動している。美化活動を通して里地里山の豊かな自然を守り、景観形成による賑わいの創出、交流人口の拡大、健康福祉の増進等に貢献している。	

◎奨励賞 <4点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	しのばずホッププロジェクト (東京都台東区)	しのばずホッププロジェクト/ 東京大学大学院都市デザイン研究室	農地ゼロの台東区下で、コミュニティ維持が課題の上野・不忍池周辺で、2021年から地元商店会と東大が連携してホップ栽培を行っている。地元ブルワリーでの醸造や、地元企業、行政等の参加等を得て活動を拡充している。	
緑の市民協働部門	環境デザイン科による 地域貢献活動 (岐阜県美濃加茂市)	岐阜県立加茂農林高等学校 環境デザイン科	平成30年より、生徒が学業で身に付けた技術を活かし、行政や地域と連携しながら、地域の高齢者単身世帯の樹木管理実習を実施している。また、地元中学校等の樹木管理等も行い、地域に広く貢献している。	
緑の市民協働部門	蝶ハッピー、みんなハッピー花壇 (奈良県磯城郡田原本町)	奈良県立磯城野高等学校 理科部Flowers	駅前に福祉交流バタフライガーデンとして花壇を整備し、行政や地域と協力しながら維持管理を行う事で、高齢者の健康促進等に貢献している。地域の小学校等にも花壇を設置し、蝶から生物多様性を普及している。	
緑の事業活動部門	森林保全に繋がる新しいカタチの観葉植物「戻り苗」事業 (和歌山県田辺市)	株式会社 ソマノベース	2021年より戻り苗という「植林用の苗木を育てる」新しい形の観葉植物を製作・販売している。育苗期間中に森林に関する勉強会等も実施しており、育苗、植林を通じ、木と関わる楽しさや大切さを伝えている。	

第44回 緑の都市賞 概要

■目的

緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている地方公共団体を顕彰することにより都市緑化普及啓発の推進、地球にやさしい生活環境の保全、創出を図り、もって緑豊かな安全、快適な都市の実現に寄与することを目的としています。

■募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格:主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格:主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO法人等で、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格:主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■表彰

内閣総理大臣賞	1点	[賞状、副賞及び活動助成金(20万円)]
国土交通大臣賞	3点以内	[賞状、副賞及び活動助成金(15万円)]
都市緑化機構会長賞	3点以内	[賞状及び活動助成金(10万円)]
第一生命財団賞	1点	[賞状及び活動助成金(10万円)]
奨励賞	若干	[賞状及び活動助成金(5万円)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■スケジュール

募集期間 2024年4月1日～6月30日 入選発表 2024年10月16日
審査会 一次:2024年8月26日 二次:9月24日

■審査委員

委員長	樺山 紘一	公益財団法人洪沢栄一記念財団 理事長
委員	池邊 このみ	千葉大学 グランドフェロー
	内田 欽也	国土交通省 都市局長
	北奥 郁代	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	佐藤 滋	早稲田大学 名誉教授
	篠沢 健太	工学院大学建築学部 教授
	野口 智子	ゆとり研究所 所長
	堀内 保潔	一般社団法人日本経済団体連合会 産業政策本部長
	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
	柳野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

(順不同、敬称略、2024年9月現在)



■主催等

主催:公益財団法人都市緑化機構
後援:国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、第一生命保険株式会社
特別協賛:一般財団法人第一生命財団
協力:日本商工会議所、公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、
一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、公益財団法人河川財団、
一般社団法人日本建設業連合会


第35回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数38件、審査会：2024年9月6日


◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	カラフルな〇△□ (こせい)が見える 『インクルージョンな プレイガーデン』 (奈良県生駒郡 三郷町)	社会福祉法人 檸檬会	かつて多くの学生で地域の賑わいの中心でもあった大学跡地を利用して、多世代・多国籍の人々が集う新たな交流の場や、インクルーシブな遊び場となる緑の空間を創出するプラン。完成後には、交流促進のためのイベントを定期的に開催したり、維持管理を障がい者就労支援施設と連携して行うなど、誰にとっても居心地のよい社会の実現に寄与できる点等が高く評価された。	
ポケット・ガーデン	和歌山市駅前 ストリートガーデン 「しえきのにわ」 (和歌山県和歌山市)	一般社団法人 市駅グリーン グリーン プロジェクト	和歌山市駅前の歩道に、公民学連携による社会実験として天然芝や花壇、ウッドデッキ等で構成された、緑の潤いと人々の憩いを育む「ストリートガーデン」を設置するプラン。街路景観や歩行者快適性の向上、地域コミュニティの交流促進などにより、和歌山市の玄関口にふさわしい新たな駅前通りの実現が期待できる点が高く評価された。	


◎都市緑化機構賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	わち山野草の森への いざない —地産地消で つくる、みどりの トンネル— (京都府船井郡 京丹波町)	一般財団法人 和知ふるさと 振興センター	自然や山野草を愛する人々が集う公園の入口付近に、かつて園内に多く見られた春の女神ギフチョウが舞う景観を取り戻すための緑化空間「みどりのトンネル」を整備するプラン。地域の間伐材の利用や、蜜源植物の植栽等子どもたちを対象とした環境教育の場としての活用等も考慮した点が評価された。	

◎第一生命賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	里に触れる まちのひととき ～江坂ひととき プロジェクト～ (大阪府吹田市)	株式会社 イー・コンサル	環境・エネルギー分野のコンサルティング会社による「都市と里の関係の再構築」を目指した取組みで、都市と里をつなぐ交流拠点に生物多様性の保全・再生のための草地や、水辺のビオトープ等を整備するプラン。都市の環境保全のシンボリック空間となるものとして期待できる点等が評価された。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	りくカフェガーデンを 核とした「未来コミュニ ティ」の醸成 (岩手県陸前高田市)	特定非営利 活動法人 りくカフェ	東日本大震災直後から住民を繋ぐ場としての機能を果たしてきたものの、仮設住宅の廃止等により活動が低迷してしまったガーデンをリニューアルするプラン。ガーデン整備やイベント運営等を通じて住民同士の繋がりを取り戻し、生きがいづくりと地域の連帯感の醸成、健康でいきいきと暮らせる未来のコミュニティづくりを目指す点が評価された。	

◎コミュニティ大賞 <8点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	未来へのかけ橋 — 生命かがやく 学校林 — (宮城県石巻市)	たぶのきネット ワーク石巻	地域の学校林を再生し、国蝶オオムラサキの生息環境の保全を目指すプラン。タブノキや柑橘類の植樹、果実の収穫や木の実を使った工作イベントや、出前授業などを通じて、自然や地域の歴史・文化に親しみ、それらを次世代へ継承することを目指す点が評価された。	
	まもろう！それいゆの 自然！ 育てよう！ 麻生のわ (神奈川県川崎市)	社会福祉法人 三篠会 それいゆ保育園	子どもたちの健やかな成長を願い、園児と保護者、地域住民、近隣の大学関係者などがともに園庭の緑化を行うプラン。整備作業を通じた地域との交流や、多種多様な樹木など自然との触れ合いにより、子どもたちの感性を伸ばし五感をより豊かにすることを旨とする点が評価された。	
	外国人と作る ベジガーデン (福井県坂井市)	坂井市国際 交流協会	交流場として活用してきたガーデンを、野菜と花が併存するベジガーデン形式とし、さらに充実させるプラン。外国人の技能実習生が多く居住する地域において、国際社会に対応した魅力ある街づくりを目指し、ともに野菜・花の育成に取り組みながら相互理解促進と多文化共生の実現を目指す点が評価された。	
	縁が輪(縁側)に なる庭 (岐阜県可児市)	岐阜県立国際 園芸アカデミー	「ぎふワールド・ローズガーデン」内の教養施設「花とぴあ」周辺の庭園をリニューアルするプラン。憩いの場である「縁側」をイメージした庭園において、「公園を訪れる人々、花や緑に関心ある人々の縁を繋ぎ、健康で心豊かな生活の一助としたい」という思いを表現する点が評価された。	
	開け、緑の玄関！ (大阪府堺市)	社会福祉法人 光陽会 認定子ども園 光陽会しんひの おだい	こども園と隣接する公園との境界部分を玄関のように整備し、地域の風景の一体化を図るプラン。子どもたちに季節の移ろいや生命の営みを感じられる場を提供し、五感を刺激するとともに、地域住民にも開かれた憩いと交流の場の実現を目指す点が評価された。	
	アトリパークでESD ～みんなが笑顔の コミュニティ～ (大阪府大阪市)	大阪市立 瓜破西小学校	多様な世代や立場の人々が自然と親むことができる、持続可能な学校ビオトープ(通称:アトリパーク)の整備を行うプラン。子どもたちが生物多様性や資源循環等について知識を有する人材となることが期待される点、学校を地域コミュニティの重要な拠点として機能させる点が評価された。	
	自然と共存・緑で 地域がつながる 「ころりん広場」 (福岡県糸島市)	NPO法人 西日本環境 ネットワーク	子どもたちが農業体験や花づくりを通して、自然や環境の大切さを学ぶことのできるコミュニティ広場を設置するプラン。経験豊富な方々による子どもたちへの農業指導や、季節の草花を楽しめる住民の憩いの場を提供することで、地域のつながりを深める役割を果たす点が評価された。	
	緑と水と生命 ～みんなで共生する 環境を～ (宮崎県北諸県郡 三股町)	社会福祉法人 ゆりかご会 認定子ども園 みどり保育園	緑・水・生命とのふれあいを通じて、子どもたちの豊かな感性を育む園庭を整備するプラン。ビオトープの水辺に息づく植物や生き物、色や香りが楽しめる樹木など、自然や四季の変化に触れることのできる環境を子どもたちに提供する点が評価された。	

第35回 緑の環境プラン大賞 の概要

■目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図り、生活の質の向上やコミュニティの醸成等につなげるものです。

■募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	緑の持つ環境保全機能(ヒートアイランド緩和効果・生物多様性保全効果等)を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成やコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動およびクールスポットの創出を通して、地域交流やコミュニティの活性化・子どもの遊び場作り、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育や身近な環境の改善等のアイデアを盛り込んだプランを募集します。

■表彰

●シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点	副賞1000万円以内(工事に対する助成金)
都市緑化機構賞	1点	
第一生命賞	1点	

●ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点	副賞150万円以内(工事に対する助成金)
第一生命財団賞	1点	
コミュニティ大賞	8点	

■スケジュール

募集期間 2024年4月1日～6月30日 入選発表 2024年10月16日
 審査会 2024年9月6日

■審査委員

委員長	進士 五十八	東京農業大学名誉教授・元学長	福井県立大学名誉教授・前学長
委員	内田 欽也	国土交通省 都市局長	
	坂井 文	東京都市大学 副学長・都市生活学部 教授	
	佐々木 美恵	産経新聞東京本社 メディアビジネス局長	
	隅野 俊亮	第一生命保険株式会社 代表取締役社長	
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント	
	三上 真史	園芸デザイナー、株式会社Plants UP 代表取締役	
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授	
	北奥 郁代	一般財団法人第一生命財団 常務理事	
	椰野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事	

(順不同、敬称略、2024年9月現在)



■主催等

主催: 公益財団法人都市緑化機構, 一般財団法人第一生命財団
 後援: 国土交通省, 環境省, 全国知事会, 全国市長会, 全国町村会, 第一生命保険株式会社
 協力: 一般社団法人建設広報協会, 一般社団法人日本公園緑地協会,
 一般社団法人日本造園建設業協会, 都市緑化基金等連絡協議会, 株式会社産業経済新聞社



第23回 緑化技術コンクール 受賞作品

応募総数件34件、審査会：2024年9月18日



◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	本の森ちゅうおう (中央区立京橋 図書館・中央区立 郷土資料館) (東京都中央区)	株式会社類設計室 松井建設株式会社 坪井工業株式会社 株式会社クリスタルジャパン	大都市東京の真ん中で森を感じる場、歴史・文化に親しむ「知の森」を意図した緑化施設。都の緑化基準の約2倍の豊かな緑に包まれた快適な読書環境と周辺の公共施設群を緑でつなぐべく、多様で立体的な緑化計画、確実な緑化技術を活用した点などが高く評価された。	
緑化施設部門	世田谷区立 保健医療福祉 総合プラザ (東京都世田谷区)	株式会社佐藤総合計画 株式会社ランドスケープ・プラス	武蔵野台地の際に位置する環境を活かし、緑と水のつながりを取り入れた緑化施設。「みどりの丘」「ジャコゴ樋」「レインガーデン」により、施設全体で気候変動と都市災害に対応した「グリーンインフラアーキテクチャー」を形成し、地域環境の多様性と持続性に寄与する点が高く評価された。	


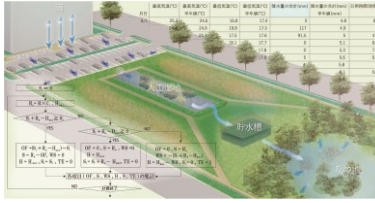
◎環境大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	那覇市本庁舎 (沖縄県那覇市)	株式会社国建 株式会社環境設計国建	“みどりあふれる庁舎をみんなでつくる”をテーマとした緑化施設。誰もが自由に緑と触れ合える屋上庭園、強風対策を施した壁面緑化、緑のカーテンによる市民・職員の憩いの場を提供することで、「亜熱帯庭園都市」にふさわしい、都市緑化を牽引する施設という点が高く評価された。	
緑化施設部門	ロハス工学センター棟 ロハスの森「ホール」 (福島県郡山市)	日本大学工学部浦部智義研究室 +ロハス工学センター 株式会社はりゆうウッズスタジオ 株式会社蔭山工務店 株式会社日比谷アメニス	LOHASを教育・研究のコンセプトとする地方大学構内の緑化施設。チガヤをベースとした緑化マット、機能性炭による水質浄化とアクアポニックス等、環境面・視覚面の仕掛けに加え、積極的に木材を利用した特徴的なデザインは、キャンパスの顔として高い宣伝効果を有している点などが高く評価された。	


◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	YANMAR TOKYO (東京都中央区)	ヤンマーコーポレーション株式会社 株式会社日建設 株式会社竹中工務店 株式会社朝日興産 株式会社プラネット 株式会社稲治造園工務所	東京駅前の建築屋内外を一体化したバーチカルグリーンウォールを有する緑化施設。緑化ユニットルーバーを積層した屋外壁面緑化、地下1階から吹き抜け空間の水耕栽培型の屋内壁面緑化により、人と自然が共生するウェルビーイングな空間を提供している点などが評価された。	
緑化施設部門	サントリー天然水 北アルプス 信濃の森工場 (長野県大町市)	サントリープロダクツ株式会社 天然水北アルプス信濃の森工場 株式会社竹中工務店 株式会社愛植物設計事務所	北アルプス山麓に位置し、自然景観資源を生かした緑化施設。景観資源マッピングと地元の植木生産者との連携による敷地内自然景観資源の活用、アカマツ林の伐採による林相転換と材の有効活用、隣接する国営公園と連携した環境学習支援プログラム等の取組みが評価された。	

◎都市緑化機構会長賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	大阪ガス 実験集合住宅 NEXT21 (大阪府大阪市)	大阪ガス株式会社 株式会社集工舎建築都市 デザイン研究所	建物全体を立体的な緑地として計画し、周辺の都市公園と連坦した緑のネットワークを構築する緑化施設。エコロジカルガーデンや屋上庭園等、積層した人工地盤の特性を活かし、建物全体で豊かな植栽空間を構成し、長年にわたり、良好な状態で維持されている点が評価された。	
特定テーマ部門	最適雨水貯留量 シミュレーションツール	株式会社日比谷アメニス	雨水の利活用を促すため、その基礎となる計算ツールを開発。計画地域の降雨傾向から効率的な1日当たりの需要高と最適な貯留高とのバランスを検証し、過去の降雨データおよび計画の総集水面積と集水効率から、雨水貯留槽の容量と形状を提案するなどその実用性が評価された。	

◎2027年国際園芸博覧会協会特別賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
特定テーマ部門	防草シート付 不織布ポット 「ウエキング」	株式会社環緑	鉢による植木栽培において、除草作業をなくし、根域の通気性を向上させることで、健全な育苗を実現するポット。鉢物の除草作業の時間とコストを軽減、また、従来のポット苗に多く見られた「ルーピング」と老化根を抑制し、「より枯れにくい苗」の栽培を可能にする点等が評価された。	

第23回 緑化技術コンクール 概要

■目的

地球温暖化対策、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、都市緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市緑化技術の新たなフェーズへの移行に寄与することを目的とします。

■応募対象

緑化施設部門	良好な都市環境の形成や気候変動への適応、生物多様性確保、幸福度(well-being)の向上等の課題解決に資する緑化施設。
特定テーマ部門 「GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会）に向け、日本から発信する緑化を支える新たな技術」	(以下の条件を満たす製品・技術) ① 緑豊かな都市生活の実現に資する革新的で、造園・緑化を支える将来性のある製品・技術 ② 製品・技術の開発が終了し、募集締切までに日本国内において自社名義で販売・提供を開始または予定している製品・技術

■表彰

表彰	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	異なる部門から2点以内	土木・建築計画、都市計画等の観点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品、製品・技術。
環境大臣賞		生物多様性、環境への配慮等の観点から、特に技術水準が高く、今後の環境緑化技術の模範となる最も優れた作品、製品・技術。
日本経済新聞社賞		商業施設における緑化の効果により、経済・社会等に好影響を与えた緑化技術等に優れた作品、製品・技術。
都市緑化機構会長賞	全部門から1～2点以内	技術面や緑化技術の普及啓発面での先駆的な取組みが優れた作品又は、特に類を見ない特色を有する優れた作品、製品・技術。
2027年国際園芸博覧会協会特別賞	特定テーマ部門のみ1点	2027年国際園芸博覧会において、日本から海外への発信が可能な、緑豊かな都市生活の実現に資する革新的で、造園・緑化を支える将来性のある製品・技術で、世界へ発信が期待できる作品。

■スケジュール

募集期間	2024年4月1日～6月30日	入選発表	2024年10月16日
審査会	2024年9月18日		

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪公立大学農学部 教授
委員	飯島 健太郎	東京都市大学環境学部環境創生学科 教授
	井上 洋	明治大学国際日本学部 兼任講師
	今村 芳恵	一般財団法人日本建築センター 上席参与
	岩崎 哲也	兵庫県立淡路景観園芸学校、兵庫県立大学大学院 准教授
	貝島 桃代	スイス連邦工科大学チューリッヒ校建築振興学 教授 / アトリエ・ワン
	片山 壮二	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長
	北奥 郁代	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	小池 政則	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務次長・業務執行理事
	佐々木 大輔	日経BP社 日経クロステック建設編集長
	永田 翔	環境省 大臣官房環境保健部企画課 熱中症対策室長
	椰野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事 (順不同、敬称略、2024年9月現在)

■主催・後援等

- ・主催: 公益財団法人都市緑化機構
- ・後援: 国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社、第一生命保険株式会社、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
- ・特別協賛: 一般財団法人第一生命財団
- ・協賛: 住友林業株式会社
- ・協力: 一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター